

20 茅国県第21号

平成20年10月20日

国土交通省道路局長 様

茅ヶ崎市長 服 部 信 明



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のありました標記のことについては、
別紙のとおり回答します。

（事務担当 建設部国県事業対策課国県事業担当）

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

○都市部と地方部では交通量や住環境も違うため、地域の実情に即した柔軟な対応を要望する。

・道路構造令(全国一律の道路構造令で縛るのではなく、地域の裁量に基づく道路構造の弾力的な運用により、効率的な整備促進を図ることが出来る。

・施策及び補助メニュー(地域で必要とされる道路整備に、幅広く柔軟に対応できるものに)

○公共用地取得に伴う損失補償基準等の一元化を行う。

・施行されてから長期間経過し、近年の様々な事例に対応することが困難になってきている。独自の基準を設けている自治体も見受けられるが、国の基準のなかで詳細な部分について法制化することで、不均衡化を是正することが出来る。

○道路計画区域内での相続や開発等が発生した際の、任意買収に対する財源及び税の特例などへの柔軟な対応が可能な制度を要望する。

今後の道路行政についての意見・提案

様式②

神奈川県茅ヶ崎市

②-1 地域の現状と抱える課題

○現状

・相模川を渡河する橋梁部のボトルネックにより、国道134号や国道1号の慢性的な交通渋滞が発生し、通過車両が地域の生活道路へ進入し地域住民の日常生活にも支障が生じている。

・都市部の自治体は急速に進む高齢化により、その対応のため財源的にも道路の補修等の維持管理で精一杯であり、道路整備や橋梁の耐震補強まで手が回らないのが実情である。

○課題

・新湘南国道の供用開始している区間の利用促進を図り、生活道路への通過車両の侵入を防ぐため、通行料金を引き下げる。

・安定した財源の確保や拡大を図る。

②ー② 地域の目指すべき将来像

神奈川県茅ヶ崎市

- 高齢者をはじめ誰もが安全で安心して外出できるよう、車椅子の通行できる歩道の確保や段差解消などバリアフリー化を推進するとともに、休憩用ベンチやポケットパーク等を設置し環境整備を推進する。
- 電線地中化を図り、災害時にも強いうるおいのあるまちづくりを推進する。
- 国・県道の幹線道路と市域内の都市幹線(主に都市計画道路)を整備し、交通ネットワークの充実を図る。
- さがみ縦貫道路寒川南IC周辺の産業系土地利用を誘導し、産業基盤の整備を図る。
- 道路を利用する人や車が安全に通行するとともに、災害時においても地域の安全が確保でき、また、市民の方へゆとりや安らぎを与えることにもつながる狭隘道路の解消を図る。

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・通過車両の排除 ・安定的な道路財源の確保及び拡大	・新湘南国道の料金の引き下げ ・補助金、交付金の拡大 資金制度の整備	・新湘南国道の通行料金を引き下げ、利用促進を図ることにより国道1号の渋滞解消や沿線住民の住環境の向上(排気ガスや生活道路への通過車両の減少)が図られる。 ・都市部の自治体は急速に進む高齢化により、財源的に道路整備や橋梁の耐震補強まで手が回らないのが実情である。このようなことから、補助メニュー及び補助金・交付金の拡大や無利子貸付等の資金制度の整備を要望する。	・資料1 ・資料2 ・耐震補強の必要な橋梁は25箇所あるが、H20年度末までに完了するのは1箇所である。

新湘南国道の通行料金引き下げ要望

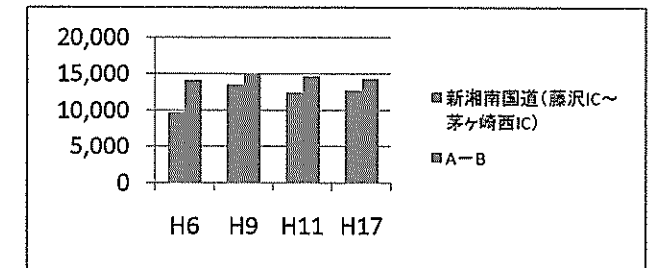
1 通行料金

区 分	藤沢IC	茅ヶ崎中央IC	茅ヶ崎西IC	茅ヶ崎海岸IC
藤沢IC		300	300	400
茅ヶ崎中央IC	300		100	200
茅ヶ崎西IC	300	100		ランプなし
茅ヶ崎海岸IC	400	200	ランプなし	

2 通行車両数(道路交通センサス)

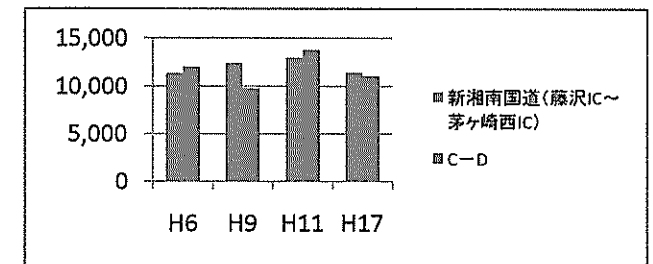
24時間平日交通量

道路名	観測地点	H6年度	H9年度	H11年度	H17年度
新湘南国道	藤沢IC～茅ヶ崎西IC	9,710	13,500	12,387	12,712
	茅ヶ崎西IC～茅ヶ崎海岸IC		4,938	4,965	4,580
国道1号	藤沢市城南 (A)	42,339	42,539	44,861	42,522
	茅ヶ崎市代官町 (B)	28,219	27,642	30,166	28,227
	茅ヶ崎市十間坂	23,315	27,413	28,724	24,788
	茅ヶ崎市中島	31,998	36,401	37,265	36,805
	(A)ー(B)	14,120	14,897	14,695	14,295



24時間休日

道路名	観測地点	H6年度	H9年度	H11年度	H17年度
新湘南国道	藤沢IC～茅ヶ崎西IC	11,400	12,433	12,978	11,412
	茅ヶ崎西IC～茅ヶ崎海岸IC		4,503	5,414	5,152
国道1号	藤沢市城南 (C)	39,325	39,293	42,054	36,921
	茅ヶ崎市代官町 (D)	27,288	29,472	28,285	25,797
	茅ヶ崎市十間坂	24,860	24,290	24,004	21,370
	茅ヶ崎市中島	31,474	35,335	34,701	28,372
	(C)ー(D)	12,037	9,821	13,769	11,124



H6年度からH17年度の交通量を比較すると、交通量にはあまり変動は見られない。

藤沢IC～茅ヶ崎西ICの交通量と新湘南国道へ入る前(城南)の交通量(A,C)から代官町の交通量(B,D)を減じた交通量(A-B,C-D)を比較すると近似値となり、約7割は新湘南国道を利用せず国道1号を利用しているものと推計される。

通行料金を引き下げ新湘南国道の利用が促進されることにより、国道1号の渋滞解消と沿線住民の環境の向上が図られる。

○茅ヶ崎市 3区分別人口

資料2

区分	国勢調査を基礎数値とした実数値											国勢調査を基礎数値とした推計値				
	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成22年	平成27年	平成32年	平成37年	平成42年
0～14歳	31,647	31,418	31,387	31,273	31,265	31,481	31,700	32,059	31,729	31,817	32,239	32,952	32,558	30,767	27,933	25,703
15～64歳	156,472	157,029	157,646	157,345	156,612	156,359	156,460	156,106	154,392	152,943	152,176	150,527	145,068	143,367	143,012	139,038
65歳以上	28,194	29,601	30,951	33,092	34,820	36,791	38,306	39,729	42,164	44,258	46,295	51,761	61,974	66,800	68,485	71,232
総人口	216,342	218,077	220,013	221,817	222,804	224,738	226,573	228,001	228,580	229,313	231,005	235,240	239,600	240,934	239,430	235,973
高齢化率	13.03%	13.57%	14.07%	14.92%	15.63%	16.37%	16.91%	17.42%	18.45%	19.30%	20.04%	22.00%	25.87%	27.73%	28.60%	30.19%

注1:総人口には年齢不詳者数も含む

注2:人口はすべて1月1日現在の数字とする

注3:データについては、平成20年までは「神奈川県年齢別人口統計調査」、平成22年以降は「茅ヶ崎市の人口について」より引用

